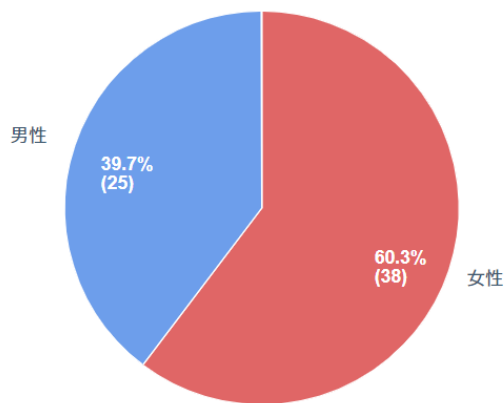


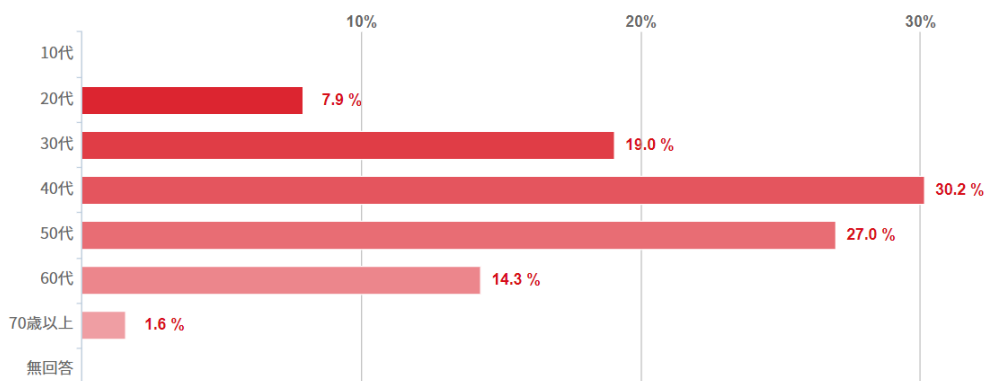
関西女性活躍シンポジウム vol.4 ～なぜ今「男性産休」？～ アンケート結果

【アンケート回答数：63】

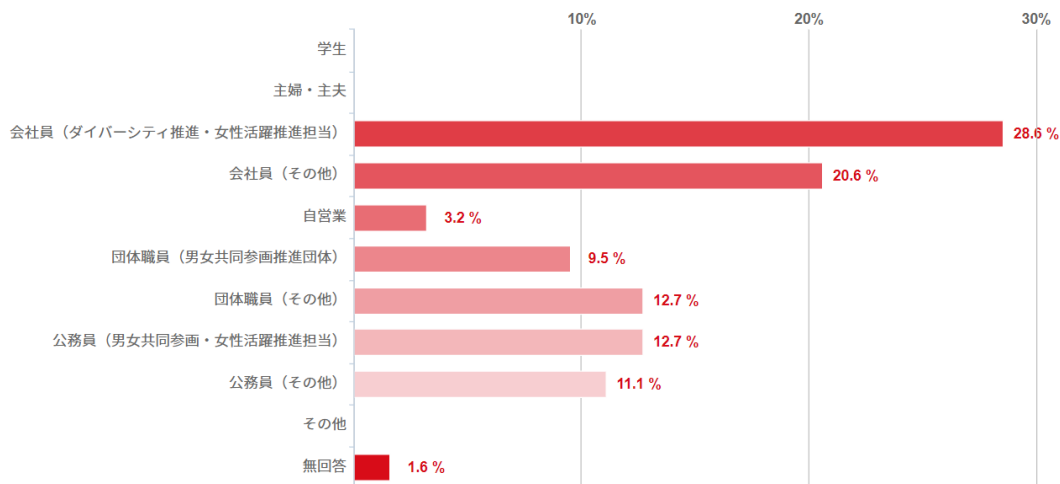
Q1. 参加者性別：女性 38名 男性 25名



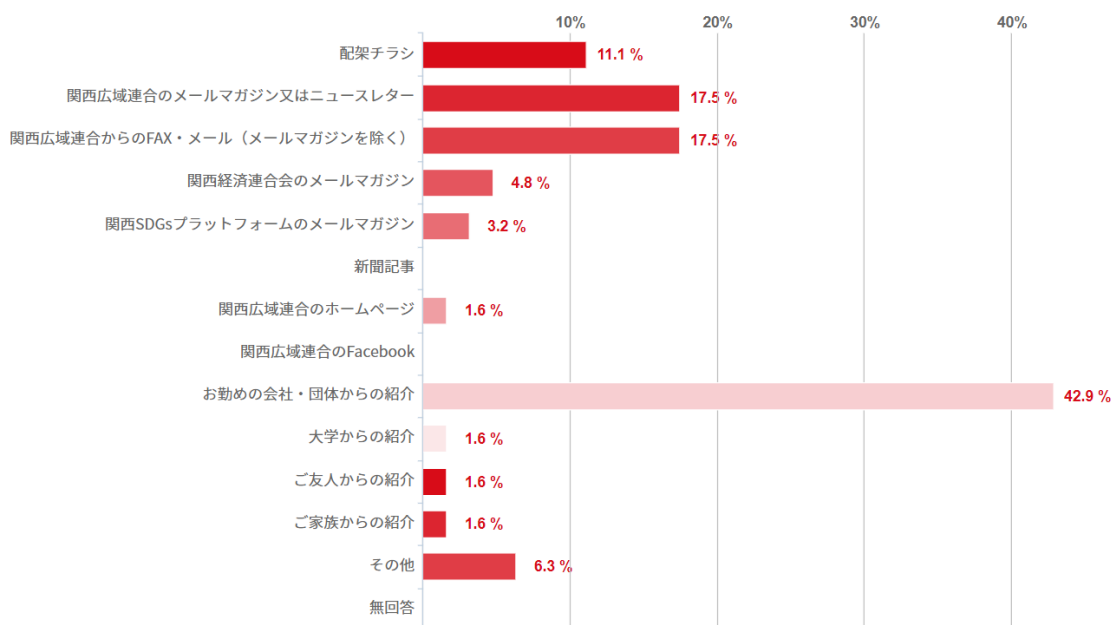
Q2. 年代別回答者



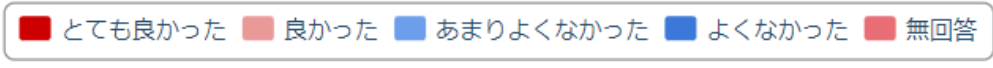
Q3. 職種別回答者



Q4. シンポジウムをお知りになったきっかけ



Q5. シンポジウム各プログラム評価



●基調講演 中央大学大学院 佐藤博樹氏



●事例紹介① 江崎グリコ 齋藤尚美氏 宮崎友恵氏



●事例紹介② プラットイーズ・えんがわ 隅田徹氏



●事例紹介③ 永楽屋 宮川富子氏



○トークセッション



○シンポジウム全体



Q6. 評価の理由 (回答数 27)

<全体>

- ・日本の伝統的な働き方とだいぶ異なっている話を聞いて、改めて各スピーカー者が今の時代で働き方を改善するべきで男性女性でも仕事と子育てのバランスを目指すのはとても良いと必要な変化と感じた。
- ・他社様の取り組みのお話を聞くことができたのが良かった。理由は、私はまだ今の会社でしか働いたことがないので、世間一般的に進んでいる方なのか遅れている方なのか、判断材料になると感じたから。結果として、遅れているとは思いませんが、まだまだ改善点があると思う。
- ・建設業から見ると何方も素晴らしい取組と思いました。今後、建設業としても男女区別ない現場管理が必要であるため数々のヒントを得られたと感じました。
- ・理想論ではなく、実態に則した考え方をいくつかお聞きすることができた。
- ・テーマが良かった。
- ・女性の社会進出が言われて久しいものの現実として職場の理解が不十分だったりすることで働きづらはまだまだ残っていると思われる。そこで、今回のようなシンポジウムで、女性の社会進出に力を入れておられる事業所の取り組みを幅広く知ってもらうことにより、少しでも多くの事業所における考え方が変わればよいと感じた。
- ・働き方改革が生産性を上げることのポイントがわかった。在宅勤務は生産性が下がるのでサテライトにすべきという意見に納得した。
- ・制度上は整っていても、実践するかどうか鍵となる問題で、実際の事例のご紹介が大変参考になりました。行政として、男性育休の取得を促進したいが、取得希望者と事業者、そして行政とのギャップをいかに埋めて、実現するか課題だと思いました。

<事例紹介>

- ・三社の事例紹介が参考になった
- ・佐藤先生や、隅田さんのお話はとても明快で刺さった。トークセッションもあることでより理解が深まった
- ・佐藤先生のお話は、個人的に普段感じていたことを言語化して頂いた感がありました。

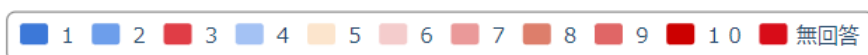
大変勉強になりました。江崎グリコ様からは具体的な推進策を紹介頂き、自部門の取組みの際の参考にさせて頂きたいと思います。

- ・女性活躍を実践している様々な立場からの実践の状況を知ることができた。また、佐藤先生の講演では、改めて現状と課題を知ることができた。
- ・江崎グリコさんの取り組みは、大都市圏における、子育て中の会社員と、そうでない会社員の共存について考える参考になった
- ・佐藤先生のお話は長年女性活躍・両立支援に携わっておられ、女活がトレンドになって付け刃で話す講師とは一線を画した、具体的かつ実績に基づかれた内容で、理解が深まりました。各事例発表も、企業規模や働き方も多様な企業で、偏りなく様々な立場での事例が参考になりました
- ・いずれの方々も時間が足りないように思います。特に後半の事例紹介では、皆様ご自分の会社のPRをなさるので、本題に入るまで時間がかかったように思います。
- ・佐藤教授のお話で、企業の課題感などが整理できた。事例紹介では、各社の苦労など生の声が聴けたことは、女性も活躍できる職場、男性の家事・育児参加などを企業に広めていく際の参考になった。
- ・企業で取り組まれていることなどがわかってよかったです。また、残業することありきで業務体制が組まれているとのことには共感しました。

<トークセッション>

- ・事例紹介も良いが、トークセッションに学びが多かったのもう少し色々聞きたかった
- ・トークセッションの時間が短すぎる。もっと掘り下げてお話を聞きたかった。

Q7. 参加者の女性活躍推進についての理解度・意識変化（10が関心度・理解度高い）



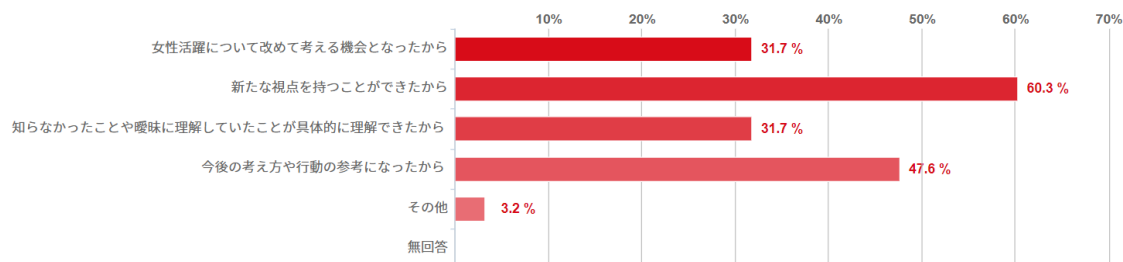
●参加前



●参加後



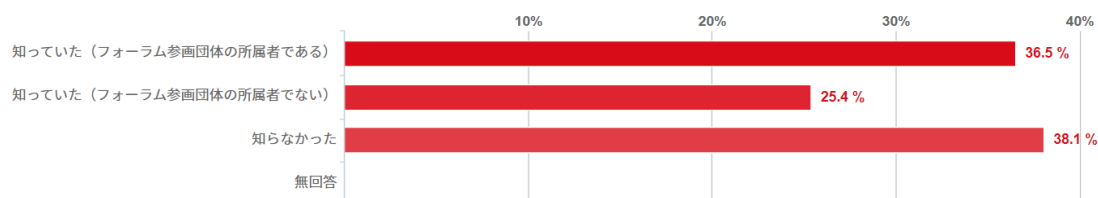
Q8. 点数の変化の理由について



(その他ご意見)

- ・女性活躍というより、若い世代の価値観の変容に対応することの大切さを実感した

Q9. 関西女性活躍推進フォーラムをご存じだったか



Q10. その他、今後の希望テーマなどご意見等について(回答数 12)

<今後の希望テーマ等>

- ・男性にとっての男女共同参画について 新しい働き方や経営
- ・働き方改革の事例紹介
- ・女性活躍と DX・SDGs・ESG 経営
- ・育児介護休業法の改正について、女性社員の夫の勤務先に育児参加について依頼できるということであるが、実際に運用できるのか、改正後の状況が知りたい。
- ・女性活躍のみならず、男性の職場・生活のバランスのとり方についてもお話を聞いたら、男女問わず活躍できる会社と社会の構築が加速できるのではと思います。
- ・独身者が増えている中、独身者を社会育児に参画する考えと、別途みんなが一緒に同じことをするのではなく、区別をしっかりと働く社会という見方も欲しい。
- ・女性の更年期障害が職業生活に与える影響について

<ご意見>

- ・「女性活躍」という観点ではなく、生産性の向上、仕事の仕方を変えていくという観点から非常に参考になりました。
- ・過剰品質を避ける、時間をかけてよいアウトプットをすればよいわけではない、というこ

とを再認識いたしました。

- ・女性に特化したことではなく男女ともに同じように、機会均等に教育していくことを、進めて行っていただきたいと感じています。当社では若い男性の育児休業取得が増えました。同等の教育をすることで企業人としての成長は男女で差が無くなると私個人は思っております。
- ・グリコの資料が事前配布のものと構成等異なっており、戸惑った。
当方のインターネット環境による問題かもしれないが、トークセッションがぶつぶつ切れてほとんど聞き取れなかった。
- ・四経連も年一回、女性活躍シンポジウムを四国4県持ち回りで主催にて実施しています。
男性の育休が今後もキーワードと思います。
㈱えんがわは、UIJターン促進で取材し、四国で働くことの魅力を四国若者会議に掲載しました。今後経連で地域を盛り上げていきたいと思っております。

以上